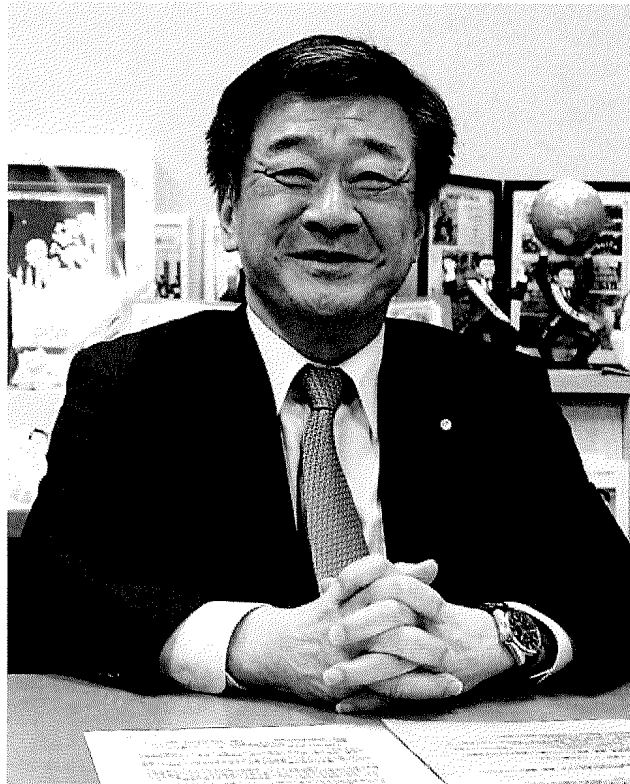


海峡横断プロ 効果議論を



足立敏之氏

1954年（昭和29年）京都府福知山市生まれ。京都大学大学院修士課程修了。建設省（現・国土交通省）に入省し、河川局河川計画課長、四国地方整備局長、中部地方整備局長、水管理・国土保全局長、技監などを歴任。南海トラフ巨大地震・首都直下地震や地球温暖化に伴う水害土砂災害など大規模災害への国の対策計画を策定し、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の創設、近畿自動車道紀勢線・北近畿豊岡自動車・四国8の字ネットワーク・東海環状自動車道・伊豆縦貫自動車道などの整備促進に携わった。2016年（平成28年）の参院選・比例代表に立候補して当選。国土交通委員会などに所属し、「建設産業の再生」「社会基盤の着実な整備」「地方の活力の再生」「安全・安心な国土づくり」などの政策を掲げて活動している。

「あくまでも現場主義」足立敏之議員に聞く

日本はもはやインフラ二流国か

足立敏之参院議員のホームページ冒頭に、大きく「あくまでも現場主義」の文字。フェイスブックには連日、各地の現場を走る姿が紹介されている。足立議員は何を考へ、何を訴えたいのか。

——橋梁・道路の現状について。
足立 橋梁・道路の現状は、今や他国と比べて二流、三流になってしまっただけではないかと疑問を感じました。

——日本の高速道路の整備状況は約1・1万キロメートル、同じ島国のイギリスと比較すると、同国では国土面積が日本の2/3にもかかわらず、延長1万2千キロ整備されています。ショックだったのは、イギリスの高速道路の3/4が片側3車線以上です。日本は残念ながら片側3車線がわずか6%で、片側1車線が38%もある。

——その意味からも、日本は適切なインフラ投資もできない貧弱な国になってしまったのではないかと感じています。
足立 日本は、2006年にすべてを凍結していますが、私は日本という国の形を考えた時に、結ぶべき所は結ぶべきだと思います。四

高速道路の役割

——防災・減災の観点から橋梁・道路の果たす役割について、伺います。
足立 昨年7月の九州北部豪雨は、線状降水帯と称される、これまでに

渡るべき場所は 渡れるように

——公共事業費の拡大
——海峡横断プロジェクトはミッシングリンク

——海外国 例えはトルコ
足立 紀淡海峡大橋、豊予海峡大橋、伊勢湾口道路、東京湾口道路などの海峡横断プロジェクトは2006年にすべてを凍結していますが、私は日本という国の形を考えた時に、結ぶべき所は結ぶべきだと思います。四

海外から賞賛の声

——橋梁業界全体への期待、エールをお願いいたします。
足立 技監当時に、東アジア・東南アジア諸国で、数多くの橋を見る機会がありました。日本の企業が架けた橋は健全で、他国建設の橋はガタガタでした。アジア各国では交通ネットワークを整備する際に、欲しいのは橋梁です。ヴェトナムでもインドネシアでも、日本企業の皆さんが努力していただいて、日本の橋に対する賞賛の声、御礼の音が聞こえてきます。橋梁を建設する企業には研鑽を継続していただき、いざという時に長大橋を架けるだけの体力を蓄えていただければ、ありがたいと思います。

政治の立場で

——政治の立場で、橋梁を架ける技術が重要
足立 まずは公共事業予算を確保していかなくてはなりません。近年は輸出の担い手として、アジアを始め世界各国で活

——政治の立場で、橋梁を架ける技術が重要
足立 まずは公共事業予算を確保していかなくてはなりません。近年は輸出の担い手として、アジアを始め世界各国で活

——政治の立場で、橋梁を架ける技術が重要
足立 まずは公共事業予算を確保していかなくてはなりません。近年は輸出の担い手として、アジアを始め世界各国で活

——政治の立場で、橋梁を架ける技術が重要
足立 まずは公共事業予算を確保していかなくてはなりません。近年は輸出の担い手として、アジアを始め世界各国で活

——政治の立場で、橋梁を架ける技術が重要
足立 まずは公共事業予算を確保していかなくてはなりません。近年は輸出の担い手として、アジアを始め世界各国で活

——政治の立場で、橋梁を架ける技術が重要
足立 まずは公共事業予算を確保していかなくてはなりません。近年は輸出の担い手として、アジアを始め世界各国で活

橋梁は財産であり、魅力

——政治の立場で、橋梁を架ける技術が重要
足立 まずは公共事業予算を確保していかなくてはなりません。近年は輸出の担い手として、アジアを始め世界各国で活